

即時荷重、固定性補綴装置



Immediate occlusal loading of tapered internal Laser-Lok implants in partial arch application: A 24-months clinical and radiographic study.

テーパード・インターナル Laser-Lok インプラントの部分歯列欠損への即時荷重：24 ヶ月後の臨床所見および X 線写真

M Grande, A Ceccherini, M Serra, L Bava, D Farronato, V Iorio Siciliano, R Guarnieri.
Journal of Osseointegration 2013;5(2):53-60

埋入された 107 本のインプラントの長さ直径

直径 mm	長さ mm	下顎	上顎	合計
3.8	9	4	2	6
3.8	10.5	6	4	10
3.8	12	8	6	14
3.8	15	7	5	12
4.6	9	12	8	20
4.6	10.5	8	14	22
4.6	12	7	8	15
4.6	15	6	2	8

連結冠の数による補綴装置の分布

	下顎	上顎	合計
2 歯連結	5	6	11
3 歯連結	6	5	11
4 歯連結	7	6	13

歯槽頂骨吸収平均 (mm)

	下顎	上顎	合計
T1	0.43 ± 0.9	0.45 ± 1.3	0.43 ± 1.1
T2	0.51 ± 0.8	0.53 ± 1.0	0.52 ± 0.9
T3	0.68 ± 1.5	0.64 ± 1.1	0.66 ± 1.3

背景

昨今では、硬組織ならびに軟組織の結合の改善のため新しい様々なインプラント表面が開発されてきた。これは即時荷重においてもメリットが大きい。

目的

本研究の目的は、カラー一部表面に微細溝をレーザー加工したインプラントを、上顎あるいは下顎の臼歯部分欠損の患者に埋入し、固定式補綴装置を用いて即時荷重させた後、2 年間の前向き臨床試験として臨床所見による評価ならびに放射線学的評価することである。

材料および方法

インプラント治療が必要で、かつ試験対象患者基準を満たす 35 名の部分無歯顎患者を、イタリアの複数の研究センターで連続して登録した。合計 107 本のテーパード・インターナル Laser-Lok インプラント (上顎 49 本、下顎 58 本) を埋入し、即時荷重をかけた。全ての症例で暫間補綴装置を 1 時間以内に装着し、最終補綴装置の装着を 4 ヶ月後とした。補綴装置としては 2 連結が 10 床、3 連結 12 床、4 連結 10 床の合計 32 床が対象となり、即時荷重後の 6 ヶ月、12 ヶ月、24 ヶ月において、臨床所見ならびに X 線写真の結果をモニタリングした。

結果

即時荷重後に 5 本のインプラント (2 連結補綴装置において上顎 3 本/下顎 1 本、3 連結補綴装置において 1 本) が脱落した。24 ヶ月後の残存率は 95.4% であった。補綴装置装着後 6 ヶ月、12 ヶ月、24 ヶ月の辺縁骨吸収はそれぞれ、0.42mm ± 1.1mm、0.52mm ± 0.9mm、0.66mm ± 1.3mm であった。

結論

24 ヶ月という短期間のフォローアップであるが、テーパード・インターナル Laser-Lok® インプラントによる即時荷重は部分無歯顎患者に対する治療法として有効と思われる。